

# 宗谷

**宗谷教職員組合** 「宗谷情報」No. 1【拡大版】  
 平成27年4月1日 発行責任者：高 一伸  
 〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館  
 Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484  
 mail info@soya-teachers.org web :http://www.soya-teachers.org

宗谷では、歴史的に「春、4月に『学校づくりの基本』を確かめ合ってきた」という経過があります。いつしか当たり前と思われている「民主的学校づくり」は、こうした地道な積み重ねがあるから、今日に受け継がれてきたものなのです。

2015年度さいしょの宗谷情報では、ひとりひとりが「春の学校づくりの指標」を読み解き、分会としての考え方やこれから一年間の活動づくりをイメージする記事を集めます。みんなで、民主的学校づくりについて考え、学校づくりを牽引するひとりとして、民主的な取り組みについて考え合ひましょう。

## 春、「民主的学校づくり」を みんなで考え合おう！

学ぶとは、誠実を胸に刻むこと  
 教えるとは、共に未来を語ること

宗谷には「民主的学校づくり」という言葉があります。全国的に進んでいる管理と統制、競争と格差を作り出す教育の中では、これに對抗できる大切な考え方です。もちろん、宗谷以外の地でも、教育の民主主義を大切に考えて教育実践を進めている方はたくさんいます。二〇一一年の学び愛フェスタで全体講演をしてくださった宮

今から二〇年前くらいに宗谷の教育関係者がまとめたブックレットに「学校づくりと教育課程の改善をめざして」というものがあります。この中に次のような部分があります。

学校は教育課程を軸に教育活動が展開されてこそ、父母の教育内容への参加をうながし、父母・国民と共に教育づくり（学校づくり）を営む（め）をしていく出発点が明確

「三つづくり」を意識し、学校づくりが豊かになるために

下聡さん（和光大学非常勤講師）は雑誌「教育」の中で次のように書いています。  
 教育の民主主義への道は、誰かの「民主主義宣言」に対する賛同者を広めることではなく、一人ひとりが自分という存在を語ることから始まり、一人ひとりが感じてい

にされます。宗谷が提唱してきた「学校づくり、学級づくり、授業づくりの実践の統一」という基本スローガンは、その意味での提起です。同時にそれは、「実践と研究の統一」を最も確かなものにする方向でもあります。

「学校づくりの指標」でも軸にしている三つづくり。指標で確かめ合うこと、教職員集団として実践すること、そしてさらに、研究を

見出しの言葉は、一九〇〇年代に活躍した小説家、ルイ・アラゴンの言葉として伝えられているものです。目の前の子どもたちとどう関わり、どう育てていくかという点も、このルイ・アラゴンの言葉に通じるところがあるように感じます。

というのが二〇年以上前の提起です。

研究：という点、「難しい話を専門家から聞く」という印象をうけがちですが、それだけではないはず。坂本光男さんは「先生が元気の出る話」という著書の中で、次のようなエピソードを紹介しています。

新学期早々に「学級だより」を出し、何かの感想を述べてもらおうと校長・教頭に

も一部ずつ渡した。すると、すかさず返ってきた返事が「誤字が三つあるね。これから発行する時は、事前に私たちに見せるか、国語科のペーランの先生に見てもらおう」といふ。と、どうだったか。と、この先生は「苦勞さま。これ一枚で二時間以上かかるだろう？。そうだよ、ね、たいへんなんだよ。でも、その苦勞は一〇カ月後くらいに生きてくるよ。すぐには表れないものだけれど」と励ましてくれ、内容についてても真剣に感想を述べてくれた。それで安心して、校長・教頭に注意されたことを話すと「気にすることないよ。あの人がたまたま、若いころはそういうミスをいっぱいやってきたはずなんだから。誤字があったら、次で正誤表を片隅に出したらいい。父母は、その誠意を認めてくれるもんだよ」と、どんな場合でも励まして、次の手を示唆してくれるというのである。

こうして職場づくりを進めながら、教師としての「授業づくり」「集団づくり」、そして「学校づくり」の三つづくりに配りや心配りをしていきたいものです。「学校づくりの指標」では、そのための大切にした視点をもとめています。

# 「三づくり」を大切にしたい、分会活動を創ろう！

宗谷教組では、今年も新年度のスタートに「民主的学校づくり」について考え合うことを呼びかけます。「語り合い」「まとめて」「動き出す」ことをみんなで進めましょう。

## ①「三づくり」で大切にしたいことをまとめよう

この宗谷情報を読み合い、分会として、授業づくり、集団づくり、学校づくりにどのように力を発揮していくのか、どのように高め合っていくのかということをもとめてみましょう。



まとめたものをもとに校長先生と対話をするということも大切です。「宗谷教組のひとつの分会として、私たちはこういうことを大事に考え、うちの学校で組合としてこんな活動をしていきます」と語ることは、分会の活動を組織的にするだけでなく、学校づくりをより良くしていきたいと考えているという決意表明にもなります。動き出す第一歩として、校長先生との対話にもチャレンジしてみましょう。



## ②『分会が動く』ための活動づくりを考えよう

大事にしたい視点がまとまったら、具体的な動きを考えよう。たとえば「PTA活動を大切にしたい」という観点なら、「管内連Pの際に、声掛けをがんばろう」とか、「授業づくりの力を高めたい」という観点なら、「本部にも相談して分会学習会をやってみよう」とかという具体的な内容になると思います。



語り合ったこと、確かめ合ったことをまとめよう。まとめ方は様々です。指標の分会版である「指針」を作ろう…とか、「分会通信」にしてまとめてみよう…とか様々な方法があると思います。そして、「分会会議をどんなときにするのか」というのを確かめておくということも大切です。



◆学校の新しい1年がスタートします。入学式の準備をする、春から最高学年となる子どもたち初々しい姿に、こちらまで気持ちがシャキッと…そんな光景が春休みではないでしょうか。

◆宗谷教組では、そんな春のスタートに、「民主的学校づくりについて考え合う取り組み」を毎年行っています。今年も、分会会議で読み合えるように、宗谷情報の拡大版をお届けすることにしました。「授業づくり」「集団づくり」「学校づくり」の大事さや大切にしたいことをたくさん語り合えるといいなあと思っています。

◆こうしていつもの2倍の紙面で宗谷情報を書いて、ひとつのねがいがあります。「組合が、ここで動いている」ということを実感できる1年になるといいなあということです。各学校では分会活動が、各市町村では支部の活動が、管内的には専門部や本部提起の活動が豊かに広がることを願っています。「組合っていいな」ということを感じながら、学んだり楽しんだり、要求実現の運動をしたり…という1年になることを願っています。(naity)

## ③集まることで分会が元気になるための工夫づくりを考えよう

「分会活動ができない」という声の背景には、分会長さんが「組合活動をやらないといけないとはわかってるけど…」という心の叫びがあるものです。ならば、みんなで分会を動かしていく工夫や、一人分会では支部会議に集まる工夫を創っていきましょう。



例えば「いろいろな係を作る」。「分会会議をやりましょうと声をかける係」とか「分会会議をやるころにお菓子を買っておく係」とか、よくあるのは「本部から届くおたよりを配る係」とか。分会長さんだけに任せきりにしなくても、分会が動く工夫を創っていきましょう。

## 〇〇分会のおたより

私たちが大切にしたい「民主的学校づくり」

### 【楽しくてわかる授業づくり】

- (1) 分会独自で、先生方の悩みを受け止め乗り越えるための教育講座活動を組織します。●●小の教職員集団としての力量向上を図る視点を大切に取り組みます。
- (2) 行事や総合的な学習などで地域のの方々や保護者のみなさんが授業へ参加することは、子どもたちが地域を学ぶために大切だという意識を大切に、●●学校の教育課程をふまえた教育実践ができるよう心がけます。

### 【教職員集団で一致して進める集団づくり】

- (1) 子どもたちが生き生きと学校生活を送るためには、抑える指導ではなく育てる指導が不可欠です。教職員集団としてこうした視点に立てよう、学び合うことを大切にします。
- (2) いじめのない学校にするために、教職員集団として子どもたちの実態を日頃から交流できる風土が育まれるよう、意識して行動します。

### 【子どもを主人公に、父母が参加する学校を】

学級・学年の子どもの実態、保護者の学びたい要求をもとに、組合として教育講座を組織します。また、管内的な子育ての取り組み（母会や管内連P）に対しても積極的な組織化を行いたいです。

## みんなで創る分会活動・役割分担

### 【活動計画】

- ◆月に1度の学習会「第三金曜の会」
- …つうしんやレポートを持って、居酒屋で交流だ！
- ◆スポーツしよう！
- …放課後の体育館でバドミントンレクをしよう！

### 【役割分担】

- ◆分会長…
- ◆分会会計…
- ◆「分会会議しますよ」と声をかける係…
- ◆おたよりくばり係…

分会のおたよりにまとめる例です。あなたの分会もチャレンジ！

みんなで入ろう  
**全教共済**  
 総合共済に入ろう！  
 月々600円で、うれしい時のお祝い（結婚・出産・結婚記念日）、困った時のお見舞い（病気・火災・自然災害・死亡時など）があります。退職時には掛金全額が戻ります。

全教共済の加入者増は、組合の財政も豊かになります。ぜひ、あなたも全教共済に加入し、組合づくりを支えてください。お願いします。

# 宗谷教職員組合 2015年の1年間

組合の活動は様々な視点で活動を進めています。学習や要求実現、親睦など様々です。現段階で予定されている組合の主な行事や活動をまとめます。分会や支部の活動を組み立てる際にも参考にしてみましょう。

**4月** 臨教部学習会 (14日から毎週火曜日、全10回)  
センたま学習会 (年間6回を予定、下記参照)

**5月** 学び愛フェスタ (9日) 全体講演は、集団づくり・子ども理解について学び合います。分科会は、学級づくり・集団づくりの講座を予定!

**6月** 全分会長会議 (28日) 教育を取り巻く課題、組合づくりの課題などを、みんなで学び合う会議です。ぜひ、参加をお願いします。

**7月** 夏は青年部活動 若い先生方を中心に、青年部の集まりがあるはず。これから具体的に企画します。

**9月** 第49回中央委員会 9月5日に予定。2月から8月までの運動を振り返りましょう。

**9月** 道教組中央委員会 学校づくりと人事の学習 10月からはじまる人事闘争に向けて理解を深める取り組みをすすめましょう。

**11月** 合同教育研究全道集會 11月7～8日。今年も江別で行われます。民主的な学びに出かけませんか?

**2月** 第27回定期大会 1年間の節目です。組合づくりを語り合ひましょう。

**3月** 道教組定期大会 全道の組合づくりをみんなで豊かに創りましょう。陸地支部からの参加の実現を!

文部科学省や道教委による様々な施策が矢継ぎ早に実行されています。宗谷においても「学校力向上実践事業」や、土曜授業の実施、立て続けに行われる「道徳教育推進教師」の研究などが具体的に表れています。このような現状の中では、目の前の子どもたちの状況や、そこから考えられる教育実践よりも、管理主義的で学力向上などが重視されてしまうのではないのでしょうか。

子どもを主人公に、父母が参加する学校づくりを、生きにくさが広がる今日の社会構造の中で、大人が抱える困難性は様々で、その困難によってつながりを断ち切られていくことだってあるかもしれません。子どもたちが共に関わりたい学び合う土壌を作るためには、大人の側のこうした困

難性をも乗り越えていきたいものです。そのために、PTA活動を豊かにしたり、家庭や地域をつなげていく視点を大切にしていきましょう。

子どもたちの教育環境や、私たちの勤務条件の多くは市町村や道・国の教育予算が関係しています。この教育予算の増額によって教職員定数を改善したり、学校予算を増やし子どもたちの学ぶ環境を整えることはひびく課題と言えるでしょう。また、地域の学校のあり方や、教育委員会の仕組みも変わろうとしています。こうした変化を敏感に感じ取り、学校づくりが豊かになるよう学び合ひましょう。そして、保護者・地域・教育関係者に働きかけましょう。



係者との連携による学校づくり、教育条件整備です。春の学校づくりの指標では、これらの視点を三点にまとめています。

今年度から査定昇給制度が導入されました。宗谷で「学校職員評価制度」「査定昇給制度」が導入されるにあたっては、「学校づくりは、チームで行われるべきもの」「宗谷が大切にしてきた民主的 schoolづくりが壊される」と危惧する声が教職員からも、訴えかけた地域・保護者からも多数上がりました。今こそ、民主的 schoolづくりという考え方をもち、職場づく

春から小学校の教科書が新しくなります。二〇〇六年に改定された教育基本法の理念に

即した教育内容になることが危惧されます。また、宗谷ではあまり見聞きしません、最近

りをするようにしましょう。教育条件整備の前進、民主的な教育行政と学校づくり

宗谷教組の青年部・臨教部が実施している定期的な学びの場です。

春、新年度スタートとともに、宗谷教組は学習会や集まりをはじめとして、先生方を応援する企画が盛りだくさんです。お問い合わせは宗谷教組本部までお願いします。

春から小学校の教科書が新しくなります。二〇〇六年に改定された教育基本法の理念に

即した教育内容になることが危惧されます。また、宗谷ではあまり見聞きしません、最近

りをするようにしましょう。教育条件整備の前進、民主的な教育行政と学校づくり

工場で品質管理をするようにチェックし、管理しあうかのよう風潮が学校現場を取り巻いているような気がしてなりません。また、全国学力・学習状況調査に代表される「数値『学力』」を上げることが目的とする教育行政の様々な施策

「学校づくりの指標」は、その仕事柄、目の前の子どもたちや保護者との関わり合いを大切にしています。それは難しくいうと「私たちは、国民主権の立場から、父母・国民の付託を受けて教育を民主的に発展させていく主体者」ということです。憲法や子どもの権利条約などに照らして、学校づくりについて確かめ合おうというのが「学校運営の基本」です。

では学校全体で学習規律や生活のルールを徹底して共通化を図る「〇〇小スタンダード」などといったものが多く見られるようになってきました。同時に、子どもたちの生活実態を考慮せず、「ルール」を子どもたちに押し付ける「ゼロ・トランス」の考え方が蔓延しています。寛容を許さない、特例を作らないという考え方で、家庭を取り巻く環境の変化による、子どもたちの生きづらさの問題もあります。貧困・格差の広がりの中で、日々の生活に追われ、家庭の不安定さにつながっているような場合もあるでしょう。子どもたちが様々な行動で発信するサインを教職員が集团的に考えることは非常に大切な視点です。

「学校の先生」の「ほんたう」の「学校運営の基本」



「学校づくりの指標」を見てみましょう。おもて面のまんなかあたりに、しかくで囲まれた文章があります。この部分は、宗谷の教育関係者が長い間大切にしてきたものです。時代が変わって、春の取り組みの形が変わっても、未来に受け継いでいくべき大切な文章です。多岐にわたる「学校の先生」の仕事、学校の役割や、望ましい運営のされ方についてまとめています。

「学校づくりの指標」を見てみましょう。おもて面のまんなかあたりに、しかくで囲まれた文章があります。この部分は、宗谷の教育関係者が長い間大切にしてきたものです。時代が変わって、春の取り組みの形が変わっても、未来に受け継いでいくべき大切な文章です。多岐にわたる「学校の先生」の仕事、学校の役割や、望ましい運営のされ方についてまとめています。

学校を取り巻く情勢は、刻々と変化をしています。そうした中で、私たち教職員が子どもたちの前に立つ者として大切にしたい観点をまとめたものが「学校づくりの指標」です。ここでは、「〇〇づくり」ことに、要点をまとめています。指標の本文と照らし見てみましょう。

「学校づくりの指標」を見てみましょう。おもて面のまんなかあたりに、しかくで囲まれた文章があります。この部分は、宗谷の教育関係者が長い間大切にしてきたものです。時代が変わって、春の取り組みの形が変わっても、未来に受け継いでいくべき大切な文章です。多岐にわたる「学校の先生」の仕事、学校の役割や、望ましい運営のされ方についてまとめています。

「学校づくりの指標」を見てみましょう。おもて面のまんなかあたりに、しかくで囲まれた文章があります。この部分は、宗谷の教育関係者が長い間大切にしてきたものです。時代が変わって、春の取り組みの形が変わっても、未来に受け継いでいくべき大切な文章です。多岐にわたる「学校の先生」の仕事、学校の役割や、望ましい運営のされ方についてまとめています。

# 「学校づくりの指標」を 読んでみよう



2014年度から稚内北星学園大学との連携に取り組んできました。臨教部の取り組みに活気が出るだけでなく、最新の教育情勢など専門的な学びができるようになりました。2015年度も、こうした成果をもとに取り組みを進めます。

① 4月14日	⑥ 5月26日
② 4月21日	⑦ 6月 2日
③ 4月28日	⑧ 6月 9日
④ 5月12日	⑨ 6月16日
⑤ 5月19日	⑩ 6月23日

**4月14日(火) スタート!**  
19:00~21:00 稚内北星学園大学  
参加費: 1回1,000円  
ただし、宗谷教組組合員・大学生は無料!

## 教員採用試験対策学習会



4月はスタート学習会  
「新年度の夢を語ろう」…集団づくり・学級づくりのはじめのいっぽ  
話題提供は、若井 宏之先生(豊富中学校)  
4月11日(土) 14:00~16:30/稚内北星学園大学401教室

月日	テーマ
6月13日	「学期末に向けて」…参観日・懇談会や評価ってどうしていますか?
7月11日	子どもの絵・作文・詩、先生の通信や指導案など交流しましょう。
10月10日	「教科指導、どうしていますか?」…授業づくりについて交流しましょう。
12月12日	2学期の成長、学年末・進級の取り組みの構想などを交流しましょう。
3月12日	「1年間を振り返りましょう」

## 宗谷教組が お知らせ

春、新年度スタートとともに、宗谷教組は学習会や集まりをはじめとして、先生方を応援する企画が盛りだくさんです。お問い合わせは宗谷教組本部までお願いします。